

第6 運営体制を整える

この制度を将来にわたって息長く地域に根付かせていくためには、地域に密着した持続的な活動ができる運営体制の整備が必要です。継続的な運営組織としては、地域の限られた人的資源を効率的に活用する観点から、既存の組織を有効に活用する形態が考えられます。

特に、洞爺湖有珠火山マイスターの目的には、エコミュージアム構想やジオパーク登録活動でめざしている質の高いガイド育成とも重なる部分があることから、これらの構想を推進している「洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会」が運営組織として最もふさわしいと考えられます。また、同協議会は、住民参画型の組織運営への発展をめざして検討を進めていますが、こうした動きは、地域住民の中から防災リーダーを育成しようとする「洞爺湖有珠火山マイスター制度」の考え方とも合致すると考えます。

こうしたことから、平成21年度以降は「洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会」による制度の持続的運営へつなげていくことが理想的であり、今後、同協議会と連携して、将来の持続的な運営を見据えた制度設計に向けてさらに検討を進める必要があります。